

THE JOURNAL OF
GLOBAL AND INTER-CULTURAL STUDIES

No.23

Part-Paid Stock System and Supplementary Installments by Corporations with Poor Business Performance (2): Case of Kawasaki Dockyard around 1930	Nao SAITO	1
Background of the case where Ko Yeong-geun assassinated Woo Beom-seon	Michihiko SHINJO	29
Truth in Philo of Alexandria	Takaaki HARAGUCHI	53
Thought and Behavior of Wilsonian Diplomacy	Kazuhiko OKUDA	71
The Eugenic Sterilization (forced sterilization) and Reproductive Health and Rights: From the Experience of Survivor	Yukako OHASHI	111
Reconstruction from Traditional Performing Arts Noh in Modern Japan: Pastimes of the Nobility to Exclusive Group	Kaori SAGA	135
An examination of regional relations in Northeast Asia from the rice cultivation	Jingyu PIAO	151
Bangladesh: Possibility of Sustained Growth	Junko KISO	171
Analysing the "Action Points" in the OECD Report <i>DAC Members and Civil Society</i>	Akio TAKAYANAGI	199
Amerika hinter den Klissen. Zu Maria Leitners „Eine Frau reist durch die Welt“ und „Hotel Amerika“.	Risa TAMARU	223

March 2021

The Faculty of Global and Inter-cultural Studies
Ferris University

国際交流研究

国際交流学部紀要
第23号

株式分割払込制度と業績不振企業による追加払込徴収 (2) ——1930年前後における川崎造船所の事例——	齊藤 直	1
高永根による禹範善暗殺の裏面 ——淳妃嚴氏の密通と陸后問題——	新城 道彦	29
アレクサンドリアのフィロンにおける真理	原口 尚彰	53
ウィルソン外交の思想と行動	奥田 和彦	71
優生手術 (強制不妊化) とリプロダクティブ・ヘルス/ライツ ——被害者の経験から——	大橋 由香子	111
近代日本における能楽復興	佐賀 香織	135
稲作から考える東北アジア地域関係	朴 敬玉	151
〈研究ノート〉バングラデシュ——持続的成長の可能性——	木曾 順子	171
〈研究ノート〉OECD/DACにおけるCSOパートナーシップに関する議論	高柳 彰夫	199
〈研究ノート〉マリア・ライトナーが描いたアメリカ ——マリア・ライトナー著『女ひとり世界を旅する』『ホテル・アメリカ』について	田丸 理砂	223

2021年3月

フェリス女学院大学

国際交流研究

国際交流学部紀要
第23号

二〇二一年三月
フェリス女学院大学

フェリス女学院大学紀要規程

2009年 7月 8日制定
2011年11月 9日改正
2015年 9月16日改正

(趣旨)

第1条 この規程は、フェリス女学院大学（以下「本学」という。）における紀要の論文等の著作物の著作権及び公開に関し、必要な事項等を定めるものとする。

(対象)

第2条 この規程において「紀要」とは、次の刊行物をいう。

- (1) フェリス女学院大学紀要
- (2) フェリス女学院大学文学部紀要
- (3) フェリス女学院大学音楽学部紀要
- (4) 国際交流研究
- (5) フェリス女学院大学日文大学院紀要
- (6) フェリス女学院大学キリスト教音楽研究所論叢
- (7) フェリス女学院大学キリスト教研究所紀要

(投稿者)

第3条 投稿者については、本学の学部又は研究科若しくは研究所（以下「学部等」という。）が別に定めるところによる。

(著作権)

第4条 投稿原稿の著作権については、次のとおりとする。

- (1) 紀要に掲載された論文等の著作物の著作権は、投稿者に帰属する。
- (2) 投稿者は、本学に対して、当該著作物を複製し、電子化してインターネットに公開することについて許諾するものとする。
- (3) 投稿者が当該著作物を利用する限りにおいては、本学の許可を必要としないものとする。

(公開)

第5条 紀要に掲載された著作物は、本学の教育研究の成果として次の方法で公開する。

- (1) 学内外への紀要の頒布又は貸与
- (2) 学内外の図書館等での閲覧又は複写
- (3) 本学が管理する学術機関リポジトリへの登録
- (4) 学外の非営利団体の管理する電子資料への掲載

(その他の事項)

第6条 紀要の編集及び刊行については、学部等が別に定めるところによる。

(庶務)

第7条 この規程に基づく著作権及び公開に関わる事務は、大学附属図書館の協力のもと、学部等が行う。

- 2 著作権に関する諸手続は、学部等の紀要委員が行うものとする。

(規程の改廃)

第8条 この規程の改廃は、大学評議会の承認を得て行うものとする。

附 則

この規程は、2009年7月9日から施行し、2009年4月1日から適用する。

附 則

この規程は、2011年11月9日から施行する。

附 則

この規程は、2015年9月16日から施行する。

執 筆 者(掲載順)

齊 藤 直 (教授)
新 城 道 彦 (准教授)
原 口 尚 彰 (教授)
奥 田 和 彦 (名誉教授)
大 橋 由香子 (本学非常勤講師)
佐 賀 香 織 (本学非常勤講師)
朴 敬 玉 (本学非常勤講師)
木 曾 順 子 (教授)
高 柳 彰 夫 (教授)
田 丸 理 砂 (教授)

国際交流研究 第23号

2021年3月31日

発 行 者 荒井 真
編 集 者 フェリス女学院大学国際交流学部紀要委員会
発 行 所 フェリス女学院大学

〒245-8650 横浜市泉区縁園4-5-3

電話 045(812)8211

印刷／勝美印刷株式会社